

## 聖書が教える逆転の発想

### イントロ：

1. ハーベストフォーラム東京は、マタイの福音書が終了した。
2. 今週から、創世記の講解メッセージに入った。
3. 月例会では、テーマメッセージを心がけたいと思う。
4. 今月は、より実践的なメッセージになる。
5. 最近の自分の体験を通して教えられたことを分かち合いたい。
  - (1) クリスチャン・ワールドニュースで紹介されたある話題。
  - (2) 米国で体験したこと。
  - (3) 先週末に行った東後勝明先生へのインタビュー。
6. きょうのメッセージをなぜ聞かなければならないのか。
  - (1) この世の価値観とはかけ離れている。
  - (2) 自己中心の生き方とは対立する。
  - (3) 聖書が教える逆転の発想。
  - (4) その実践記録を見せていただいた。楽譜と音楽の関係。

### 聖書が教える3つの逆転の発想

#### I. 使徒20:35 与える祝福

1. パウロがエペソのクリスチャンたちに語った箇所
2. クリスチャン・ワールドニュースの中の「与える祝福」
3. アーサー・ブルックス著
  - (1) WHO REALLY CARES? The Surprising Truth About Compassionate Conservatism
  - (2) Gross National Happiness

#### 4. 適用

## II. マタイ 20 : 25～28 仕える祝福

1. イエスの弟子訓練
2. 成長セミナーの改訂版のためのセミナー
3. 会場は、ノースリッジのチャーチ・エブリデイ
  - (1) 9年間で3,000人。7割が転会者、3割が新しくクリスチャンになった人たち。
  - (2) ただで会堂を手に入れた。
  - (3) カジュアルスタイルで宣教に取り組んでいる。
  - (4) 50歳のチョイ牧師。マンパワーをどのように神の国のために用いるか。
  - (5) こんなによくしてくださった神様のお返しをしたい。
4. 私たちが受けた歓待
  - (1) 会場と撮影スタッフの提供
  - (2) Tシャツの提供
  - (3) グリーティングカードの提供
  - (4) リフレッシュメント、昼食、夕食の提供
  - (5) 祈りのチームによる応援
5. 最も感激したこと
  - (1) 喜んで仕えている。
  - (2) 私たちにこういうチャンスを与えてくださり、感謝します。
6. 参加者たちの感想

## III. ローマ 4 : 3～8 恵みという祝福

1. パウロが旧約聖書を用いて、信仰義認を解説している。
2. 東後勝明先生
  - (1) NHK「英語会話」 1972年から13年半
  - (2) かつては猛烈人間
  - (3) 父の影響 17歳で父を亡くす。「勝明、お前、出世しろよ」
  - (4) 2浪して早稲田に入学。英米に3度留学。早稲田の教壇に立つ。
  - (5) NHKの仕事も入り、順風満帆の人生
3. 家庭内の不和
  - (1) 娘の不登校
  - (2) 奥様の病気。くも膜下出血。12時間の手術。
  - (3) 自身の病気。腹腔内出血。2リットル。
  - (4) 牧師の訪問。詩篇 23 篇
    - ①そのままでもいいんだよ。

②涙が溢れ、肩から重荷が取れる。

③負の力で生きてきたが、自然に生きることができるようになった。

④「生きる」から「生かされている」への転換。

4. 十字架の意味

(1) 小切手の裏書のようなもの。

(2) そのままでいいんだよ。裏に、キリストの十字架がある。

**結論 聖書が教える逆転の発想**

1. 与える祝福

2. 仕える祝福

3. 恵みという祝福